

7月10日(火)『子どもの権利 ～子どもの安心・安全を保障する～』

講師：志治 優美(しじ ゆみ)さん【エンパワメントみえ 代表】

子どもの自尊感情を育てるには、「安心できる環境」「愛された記憶」「ありのままを受け入れられる居場所」が必要です。

大人の私たちがそれらを子どもたちにどのように手渡すのか？一緒に考えましょう。

子どもたちへの
接し方について
新たな発見が
あるかも？

7月17日(火)『LGBTと多様性 ～虹色に輝くまちづくりを目指して～』

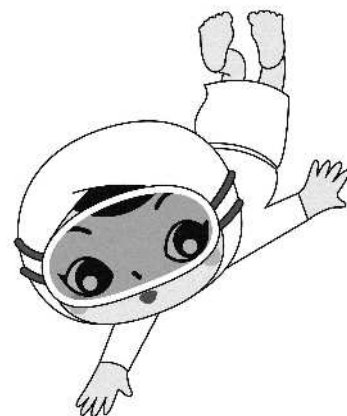
講師：山口 颯一(やまぐち しょういち)さん【一般社団法人ELLY 代表理事】

現在、LGBT(性的マイノリティ)の認知がますます広まりつつあります。

今回は、LGBTの基礎知識だけではなく、「どのようなことで性別や性的指向に関する困難が起こっているのか？」と、「では、どうしたらいいのか？」

を、参加者のみなさんと一緒に考えていきたいと思います。

そして、LGBTに寛容なカナダへ留学した内容も含めてお話をします。



7月24日(火)『部落問題の解決をめざして』

講師：垣内 秀文(かきうち ひでふみ)さん

【公益社団法人 三重県人権教育研究協議会 事務局員】

「部落差別解消推進法」が公布・施行されてから1年余りが経ちました。この法律

が制定された意義を再確認しつつ、現時点でどれくらい周知されてきているのかに触れます。部落問題は、現代社会に生きる私たちすべての人々に関わる問題ですが、そのことに気付くためには、まず、自分と部落問題の接点を振り返ることが大切です。部落問題の解決をめざして、これから取り組んでいくべき課題について共に考えましょう。

7月31日(火)『多文化共生から多文化理解へ』

講師：中村 尚生(なかむら なおき)さん【公益財団法人 反差別・人権研究所みえ 調査・研究員】

現在、日本の社会において多文化共生が叫ばれてきた大きな要因として、1990年に入管法が改正されたことにより、海外から日本に定住する人が飛躍的に増加したことがあげられます。

しかし、入管法改正からおおよそ30年が経過し、いまだ、私たちの外国人に対する人権問題の課題提起は「多文化共生」から抜け出せていません。今後、私たちが地域や職場において包括的に多文化共生を捉えていくうえで、何が必要なのか？一緒に考える機会にしましょう。

2018(平成30)年度 志摩市人権講座 申込書(FAXでお申し込みの際にご使用ください。)

参加日(希望日に○を付ける)	氏 名	お住まいの町名	連絡先(電話番号)
10日・17日・24日・31日		町	
10日・17日・24日・31日		町	
10日・17日・24日・31日		町	

申し込み先 志摩市役所・市民生活部・人権市民協働課 FAX(0599)44-5260